

facebookによる魅力発信強化

# 概要と特徴

若者の情報収集として広く浸透している、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の一つ、facebookを活用し、中小企業の魅力発信を実施した。

またこのfacebook活用の役割の一つに、学生に対するメッセージ開発の練習の場とし、リクルーター養成ゼミを受講している採用担当者が、習得した考え方をもとに、自社PRのメッセージを作り、facebookに記事として投稿し、即座に若者からの反応を見ろという検証も兼ねている。その際は、採用担当者が当プロジェクトで用意した「記事作成のマニュアル」をみて、記事と写真を用意し、必ず当プロジェクトの中小企業人材採用サポートグループが添削とチェックを行い、その後facebookホームページ「チバQ」に投稿・掲載する工程にした。

facebook「チバQ」のサイト

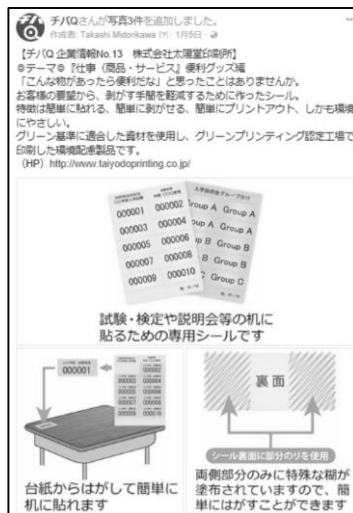


記事を作成する際、生徒・学生の情報収集の特性とfacebook上の画面特性を考慮し、

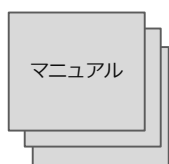
- 1：投稿する5つのテーマを設定
- 2：テーマごとに写真を撮影
- 3：174文字以内で記事作成

により、記事を作成する。

※詳細は「記事の作り方」を参照



- ①マニュアルを読む ②記事作成と写真を作成 ③メールで送信 ④当プロジェクトで添削 ⑤「チバQ」にアップ



# 実施内容

## 記事配信

facebookは記事を有料広告としてターゲット設定したfacebook登録者に送信することができる。受け取った登録者は自分のページ内に記事として自動的に入ってくる。その広告を読み、記事内容が面白い、と思えば「いいね！」を押す。その後は、「いいね！」を押した登録者には、「チバQ」で投稿した記事は自動的に登録者のページに掲示される。このSNSの特性を利用して、千葉県在住及び出身の生徒・学生に、県内中小企業の魅力を日常的に目に触れるようにし、「発見できる」ようにし、「興味を示す」ようにすることが最大の目的である。

当プロジェクトでは、6月～翌1月に記事の有料広告配信を行いファンを増やしていく試みを実施した。

### ◆配信ターゲット

- ・地域: 千葉県（出身および在住と個人情報を登録している人）
- ・年齢: 17歳～23歳
- ・次の条件に一致する人: 学歴: 高校生または大学生・専門学校生

### ◆配信時期

- ・6月～翌1月

### ◆配信結果

	記事投稿	広告配信記事	イベント広告記事	ページ広告	いいね数	新規いいね数	リーチ数
5月	-	-	-	-	133	-	-
6月	4	1		2	172	39	1,584
7月	3	2		2	226	54	3,081
8月	3	2		2	283	57	3,284
9月	1	1		2	345	62	1,034
10月	2	2		2	409	64	1,029
11月	1	1	2	1	431	22	4,607
12月	2	2	2	1	436	5	11,294
1月	14	1		2	464	28	3,314

学生に向けた記事投稿を毎月定期的に行い、その記事に対して、①広告記事配信、②イベント広告記事、③ページ広告の三つの有料広告配信を配信ターゲットに向けて発信した。

facebookの広告効果としては、「いいね！」獲得数と「リーチ数」の二つの指標がある。「リーチ数」は、ページのコンテンツを見たユーザー数であり、その記事を見てファンになった方は「いいね！」を押す。Facebookでは、いかに「いいね！」を伸ばすのか、「リーチ」を伸ばすのかで広告展開が変わってくる。

# 成果と課題

facebook「チバQ」による情報発信を実施し、今年度は6月から継続的に広告配信を行ったことで、facebook 広告効果として「いいね！」獲得数と「リーチ数」の二つの指標を伸ばすことができた。特に、「いいね！」数は464人を獲得し、学生のファンを大幅に増やすことに成功したといえる。

一方で、課題としては、

- ①「いいね！」を押した学生の中で外国人の数が多かったこと、男性比率が高く、女子学生の「いいね！」を増やすことができなかったこと。
- ②企業の魅力発表会で発表した企業のうち、13社の企業の魅力発信を記事として投稿したが、企業実習への参加を呼び掛ける情報発信がメインであり、本来の企業情報発信については1件に留まったことは課題である。
- ③何よりも、「いいね！」「リーチ」数を伸ばしたにもかかわらず、それがどう成果として結びついているのか実感値として感じるができなかった。発信するだけでなく、その反応を刈り取る仕組みがなければ、その効果を本質的に検証することは困難である。facebook「チバQ」を効果的に運用していくための大きな課題として、見直しが必要ではないかと考える。

## 投稿記事「参考」

